

地域と企業の発展のために、私ども中小企業診断士をご活用ください。



岡山県中小企業診断士会会報

2022年12月15日発行（第22号）

一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

〒700-0985 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所ビル 5階

TEL (086)225-4552 FAX (086)225-4554 URL <https://osmeca.org/>



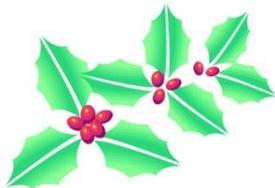
井倉峡・絹掛けの滝（岡山県新見市草間近辺）

岩肌に白絹を掛けたように見えることからその名前が付けられたと言われています。

目次

会長あいさつ	1
事業報告	2
新入会員紹介	4
研究会活動	5
委員会活動	8
BOOK REVIEW	9
事務局だより	10

一層求められる 中小企業診断士の支援力



会長あいさつ

会長 松本 直也



新型コロナウイルスの長期化、原材料価格高騰・物価高等の厳しい経営環境に対応するために、各方面から中小企業診断士の支援依頼をいただいております。本会会員の皆様には多くの場面でご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

◆同じ目線で寄り添う支援

現行においても各中小企業支援機関における総合的な窓口相談や各種対応、資金繰りの円滑化・経営改善の推進、ポストコロナ・アフターコロナ時代に対応する成長・経営革新等の幅広い経営課題に対して、高い専門性を発揮するとともに、中小企業経営者の皆様の身近な相談者として、同じ目線で寄り添った支援が求められています。

今後の中小企業を取り巻く経営環境は、コロナ・物価高はもちろんのこと、市場の成熟化、少子高齢化、地域の過疎化、人手不足、脱炭素への取り組み、DXの推進等、急激かつ不確実に変化していく中で、中小企業診断士は一層多様で複雑な経営環境変化に対応できる支援を実践する必要があります。

◆伴走支援で潜在力引き出す

このような環境変化に対し、中小企業庁では中小企業支援の在り方についての見直しが進められており、今年度から「経営力再構築伴走型支援」の普及が始まりました。同支援において重視されるのは、「経営力そのものの向上」と「経営者の自己変革力」です。支援者にとっては、短期的な経営課題の解決だけでなく、中長期的な経営環境変化に対応し、持続的な成長発展に向けた経営課題の設定と経営戦略の策定、加えて、これらを実現させる経営者の自己変革による成長が求められます。中小企業診断士には対話と共感を通じて中小企業の潜在力を引き出し、腹落ちする方向性や方法に辿り着く支援が期待されています。

「経営力そのものの向上」と「経営者の自己変革力」の支援者は中小企業診断士が最も相応しいと言えるでしょう。ただし、中小企業診断士が中小企業経営者にとって相談相手・支援者として頼りになる存在であることが必須です。高い専門性はもちろんのこと、信頼できる人間性やコミュニケーション能力、社会・経済・地域の理解も深めることが大切です。

本会では、会員の皆様の支援能力向上に資するフォーラム・研修や研究会活動等を積極的に推進しています。令和5年1月15日(日)の新春フォーラムでは大原美術館理事長の大原あかね様にご講演いただきます。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

中小企業診断士の日記念事業

中小企診断士による他土業連携

11月18日、「中小企業診断士の日」の記念事業として、「中小企業診断士による他土業連携」をテーマとした講演会・トークセッションを「ピュアリティまきび」（岡山市）にて開催しました。参加者は各土業、金融機関等から54名でした。内容は以下のとおりです。

【講演】

- 「岡山弁護士会の他土業連携について」
弁護士 山崎健一郎
- 「中小企業診断士が発揮する
ハブ機能の活用について」
会員 藤井正徳

【トークセッション】

ファシリテーター 太田記生

パネラー 山崎健一郎、藤井正徳

松下哲也（会員）、安原照美（同）

（敬称略）

山崎弁護士（写真右）は中小企業支援を目的とした他土業連携の様子や診断士との連携の必要性や可能性等についての話がありました。



藤井さん（写真下）は「診断士の強みは幅広い相談に対応ができること」とした上で「多くの土業、専門家と連携することで具体的な解決策や、より確実な成果を提供できる」と診断士が持つハブ機能の活用について



説明がありました。

トークセッションでは、診断士の他に税理士、社労士の資格を持つ松下さんと、同じく弁護士の資格を持つ安原さんから、複数の専門性を絡めた支援策などについて話がありました。



【トークセッションの様子 左から太田、山崎、安原、松下、藤井】



理論政策更新研修開催

8月21日、本年の「理論政策更新研修」を岡山コンベンションセンターにて開催しました。リモートを含めたハイブリッド形式で行い、受講者は195人（うちリモート110人）でした。内容は以下のとおりです。

○新しい中小企業政策について

中国経済産業局 産業部 中小企業課
課長補佐 中井 靖

○営業力の可視化を端緒に業務改善と

新規顧客開拓による営業革新
株式会社売上UP研究所
代表取締役 渡邊 卓（中小企業診断士）
（敬称略）

「新しい中小企業施策について」では、国内中小企業の現状についての解説や事業承継、ポストコロナ対策や円安・原油高対応など最新の中小企業施策のポイントの説明がありました。「営業力の可視化を端緒に業務改善と新規顧客開拓による営業革新」では、具体的な中小企業の支援事例を通して、組織的営業活動の推進、業務改善方法等について講義・演習がありました。



【講演される中井氏(上)と渡邊氏】



診断士フォーラム

診断士活動と社会貢献活動

9月11日開催のフォーラムは、大阪府貝塚市を拠点として活動している中小企業診断士 安田勝也さんをお迎えし、「中小企業診断士活動と社会貢献活動（カンボジア自転車プロジェクト）について」のテーマで講演していただきました。

前半は創業時から現在までの診断士活動について、後半は社会貢献活動としてカンボジアの子供達に自転車を贈るプロジェクト（クラウドファンディング）についての内容です。

Zoom開催で10数名参加の少人数での開催でしたが、会員の関心が高く、質問も多く出ていました。

仕事の依頼が広がっている要因については、2点説明がありました。船場総研（勉強会OB）や中小企業家同友会などが縁となった人との「つながり」を大切にしている点。もう1点は大切にしている秘訣があり、それを実践することで研修内容が面白いと広まったとのことでした。

クラウドファンディングによる自転車プロジェクトは2017年から毎年実施しており、年々支援額も増加しています。今年は350万円以上の支援額が集まりました。また、こうした社会貢献活動により新しい依頼（クラウドファンディング、ネット販売等）にも繋がっているそうです。

社会貢献活動をやりたいが不安がある方も多くと思いますが「成功する秘訣は、その場で『やります！がんばります！』とやることですよ(笑)」とのアドバイスもいただきました。



【ZOOMによる9月フォーラム。左が安田氏】

士業親睦ゴルフ大会

3年ぶり開催、9名が参加

岡山自由業団体連絡協議会主催の親睦ゴルフ大会が、10月29日（土）に岡山カントリークラブ 桃の郷コースにて開催されました。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となりましたが、天気にも恵まれ、9士業から54名が参加しました。診断士会

からは9名が参加し、他土業の皆さんと交流を深めながらラウンドすることができました。診断士会メンバーでの最高位は8位の吉田正人さんでした。参加いただいた皆さん、大変お疲れ様でした。

(参加者 松本直也、太田記生、小泉 守、草野栄路、長船洋人、北川 誠、乙倉 淳、高杉康成、吉田正人)



【ゴルフ大会参加メンバー】

新会員紹介

web活用、女性の創業支援

栢原 陽子 (かやはら ようこ)

倉敷市出身。SNS (Twitter、Instagram) の総フォロワー数約1万人です。

20代前半にヨガインストラクターとして独立し、ライター、デザイナー、web制作、webメディアの編集長を渡り歩いてきました。その間に創立2年目のベンチャー企業で約10年間、社長直下で経営計画立案や新規事業開発、人材育成を担当しています。

現在は、webマーケティング支援、女性の創業支援を中心に活動しており、顧客獲得や売上拡大に繋がっています。普段は東京在住ですが実家が倉敷にあるため頻繁に帰省しており、地元で貢献できたらと考えています。



ITと経営の橋渡し

松田 慎二 (まつだ しんじ)

岡山市出身です。香川大学卒業後、IT企業でSEやプロマネ、新規事業の企画を担当しています。

得意技はIT活用やDX推進です。最近興味を持っている分野はweb3やNFTを活用したマーケティングです。DXといえばバズワードになっていますが、簡単に言うと「今まで手作業で苦勞していた作業をITで楽にする」ことです。背景にはクラウドサービスの拡大によりIT導入コスト(費用、時間)が劇的に低下していることがあります。従来は費用対効果の観点からIT化を見送っていた領域も、低コストでIT化が可能となってきています。しかし、手作業で苦勞していたことを「整理/分析」し、「適切なITツールを採用」することは、実はかなり難しいことです。

長年ごちゃごちゃに絡まった手作業運用の整理分析を実施してきましたので、お困りの際にはお声掛けください。ITと経営の橋渡しを行えるような人材として、地域企業や地域活性化に貢献できるよう研鑽してまいります。



ITによる生産性向上支援

木下 諒 (きのした りょう)

倉敷市出身、岡山市在住の27歳です。中小企業診断士試験の合格を契機に、前職を辞めて独立しました。前職ではシステムエンジニアとして3年半従事し、サーバやWebアプリケーション



ンの脆弱性診断や情報インフラ機器の導入等を行いました。大学時代に情報工学を修め、また前職の経験があるため、IT全般の知識及び技術力を私の強みとしています。

今後はITに精通した経営コンサルタントとして、主にITの利活用による生産性向上の支援を通して県内の企業様の力になりたいと考えています。

若者・女性起業家を支援

木下 祐佳 (きのした ゆうか)

倉敷市出身、岡山市在住です。岡山大学農学部を卒業し、玉島信用金庫に入庫後、預金業務を1年間、融資業務を3年間経験しました。現在27歳です。中小企業診断士試験合格を機に退職・独立し、今年11月に登録しました。



まずは独立診断士として、若者ながらも頼れる雰囲気を出し出すことが目標です。今のところ得意分野は特にないので、今後創業を得意分野とし、若者・女性起業家の支援を行いたいです。

会社間を繋ぎ、魅力ある街づくりを

村上 綾音 (むらかみ あやね)

山口県下関市出身です。青春時代は剣道に全てを懸けていました。

両親を始めとした周りの人々に支えられた日々。そんな尊敬する両親にゆかりのある岡山が良いなと思い岡山大学教育学部へ進学したことが岡山生活のスタートでした。



卒業後は様々な経験を重ねるために、東証1部

上場のIT企業に就職、大阪で営業を2年半経験しました。縁があって転職し、岡山に戻って6年。中小企業へ転職し、今は塾講師として数学や理科を教える傍ら経営にも携わっています。

12月より、株式会社リンクエイドの代表取締役としてコンサルティング業務をスタートさせました。

これからは経営者と共に歩みつつ、会社と会社を繋いで、より魅力ある街づくりをしたいと考えています。

そして、中小企業診断士の仲間である皆さんとの横の繋がりも大切にしたいと思います。

事業計画作成支援

浜副 聖史 (はまぞえ まさし)

本年4月に鳥取県協会から移籍しました。主に経営戦略、経営改善、各種補助金等の事業計画書の作成支援を行っています。ちなみに補助金については現在2年間採択率100%の実績です。



メタバース関連企業の顧問として、資金調達・組織開発・サービス開発の先導を行っています。

研究会活動報告

◇** ものづくり企業研究会 **◇

製造業をはじめとした“ものづくり企業”をより強力に支援することを目的に研究活動を行っています。

今年度の調査研究事業のまとめが佳境に入ってきました。スケジュールに対して若干遅れ気味ですが、多忙を極めるメンバーと毎月1回の会合で意思疎通を図り、報告書をまとめています。現段階でも新たな気付きや非常に興味深いデータの発見などがあったり、またデータが期待外れの結果

になったりと当初の目論見の修正が必要なケースもありますが、全員で目標に向かいラストスパートをかけていきます。

また、毎月会合の後半で実施している勉強会は、開講から1年半継続しておりメンバーのレベルアップに繋がっています。岡田貞夫先生(診断士会OB)に自著のテキストを解説していただく貴重な機会になっているだけでなく、メンバーそれぞれの専門分野の知識や経験談を聞くことができる非常に有意義な時間になっています。



【勉強会の様子】

◇** AI 研究会 **◇

2018年8月に発足し、現在、メンバーは8名(太田、岡本、長野、入矢、田中、内田、大友、中津)です。全員がプログラミング経験者、システム開発経験者です。

月1回程度、集合して研究会を開催し、AIやITについての情報交換を行っています。

今年度は、「中小企業支援に資するAIの開発」を新テーマとして掲げ、製造業の現場データを分析するためのAIプログラムの開発に全員で取り組んでいます。実際の生産管理システムのデータ

を活用して、安全在庫量、発注点、発注リードタイムなど、在庫管理の適正化をAI(Python言語)で実現すべく、研究を進めています。現在は、ブラウザ上でPython言語を記述、実行可能な開発プラットフォームである、Google Colaboratory(グーグルコラボレータリー、グーグルラボ)を利用して、開発、研究を進めています。

これからも引き続き、じっくり時間をかけて、AIプログラミングの実践研究を進めつつ、「中小企業におけるAI活用の最前線の研究」にも取り組む予定です。

システム開発経験者、またはデータサイエンティストを目指す方のご参加をお待ちしています。

◇** 診断士キャリアアップ研究会 **◇

主に診断士会入会后3年未満の会員を対象にした交流会中心の研究会です。診断士資格を活用したキャリアアップの研究・自己PR力の向上等をテーマに活動しています。

第6回研究会を7月23日(土)、第7回研究会を9月17日(土)、第8回研究会を11月12日(土)に岡山国際交流センターにて開催しました。

第6回は15名(会場14名・web1名)、第7回は13名(会場12名・web1名)、第8回は14名(会場12名・web2名)が参加しました。

新メンバーの自己PRの後、各回2~3名の講師によるミニセミナーを実施。各講師の得意分野や専門性を基にしたプレゼンテーションと自己PR、闊達な質疑応答によって、発表者・参加者が共に学び、相互理解の促進が図られたと思います。

毎回、懇親会を開催しており、おおいに盛り上がりました。

「楽しみながら継続的に参加できる」ことを大切しながら、今後も2ヶ月に1度の活動を行う予定です。診断士会入会后3年以内の方はぜひ気軽にご参加ください。

【参加方法】

右のQRコードから Google フォームにアクセスのうえ、氏名・メールアドレス等をご回答ください。



【研究発表の様子】

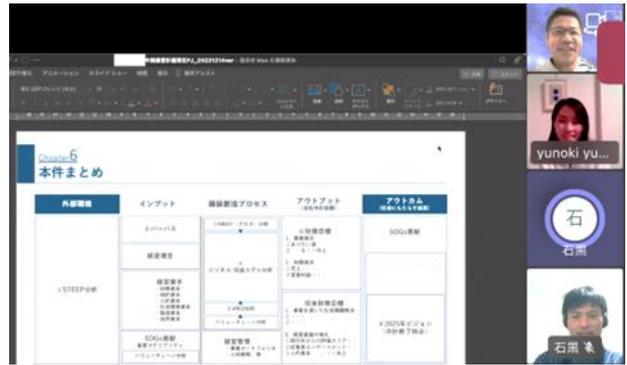
◇** サステナビリティ経営研究会 **◇

サステナビリティ（持続可能な）経営＝「両利きの経営」と捉え、その理解を深めるとともに、具体的な導入プロセスを研究しています。中小企業が無理なくサステナビリティ経営を実現できるように、診断士として助言・提案力を身につけることを目指しています。

昨年4月に立ち上げ、3名で活動しています。今年度は、「両利きの経営」を実践する企業のケーススタディを行い、会員相互で課題や今後の戦略等について議論しています。

活動は平日夜・土日中心で、1か月に1度程度の活動（原則オンライン）を行っています。今年度は9月度より岡山市老舗事業者の中期経営計画策定をプロジェクト支援しています。我々にとっては初の試みですが、研究会員の知見を活かしながら、事業者様の成長戦略立案に向け、日夜オンラインを通じて切磋琢磨しています。

今後ともこうした取り組みを積極的に行い、理論と実践の融合を図りたいと考えています。オブザーブ参加などお試しできますので、興味有りの方は代表の石井正樹までご連絡をお願いします。



【オンラインによるミーティング】

◇** 循環ビジネス研究会 **◇

文字通り循環ビジネスについて研究する会です。今回は気候変動対策として世界の平均気温上昇を産業革命以前と比較して 1.5°Cに抑える活動の影響について紹介します。その活動の中心は地球温暖化効果を持つ二酸化炭素(CO2)の排出の抑制、つまり化石燃料の原油、天然ガス、石炭等の化石燃料の使用を削減することにあります。

その一環としてガソリン車から電気自動車（EV）への転換があります。水島で生産されている軽自動車EV「日産サクラ」と「三菱 eK クロス EV」（2車は基本的に同じ車）が売れているらしい。ガソリン車に燃料を供給してきたガソリンスタンドは社会インフラの1つですが、将来存続が危ぶまれています。EVへの充電は自宅等で行い、将来必要とされるEVスタンドは今より大幅に減少すると予測されます。月極駐車場を貸している事業者は駐車場に電源を設置する必要があるかもしれません。その時には車を保有せずにシェアカーになっているかもしれません。ホテル・旅館などはお客様駐車場に電源とそれを管理するシステムが必要になるでしょう。立体駐車場では対応は無理だろうと考えます。

EVの販売が本格的になるのは2020年代後半と予測されています。乗用車の平均使用年数が10年程度であり、EVの保有台数の比率が増えて来るのはまだまだ先の話となります。ただ不動産投資等を行う場合はEVの普及も考える必要があると考

えます。

当会では知識の補充として、新聞報道等を収集し、視察先を探している状態です。廃棄物診断も引き続き真摯に行っていきます。

◇** 問題解決力向上研究会 **◇

過去の診断案件等を題材にして、問題把握・原因究明・提案施策について、“広く、深く”考えることに特化した、コンサルタント必須の問題解決力を鍛える会です。

2カ月に1回のペースで活動しており、今年度は財務分析を中心として経営状況を読み解き、問題把握、原因究明、施策立案のトレーニングを行っています。

8月は自動車製造業の4社を取り上げ、財務分析を行いました。資金繰りに優れる企業の他社との違いなど、財務指標から経営戦略や経営環境における各社の特徴を考察しました。10月は平成19年度中小企業診断士二次試験事例Ⅳを題材として、化粧品製造業のD社が採るべき経営戦略について議論しました。問題解決に際して、どのような思考プロセスをたどったか整理しながら取り組んでいます。

今後も「思考のトレーニングジム」として活動を続け、様々な題材に取り組みたいと思います。もちろん、実践の機会を与えていただければ、積極的に取り組みたいと意気込んでいますので、「この会にA社の診断をやってもらおう」といった方は当会にぜひお声かけください。



【問題解決力向上研究会のメンバー】

◇** プロコンのためのスキル開発研究会 **◇

設立時のメンバーに加え2名の会員を迎え6名のメンバーがいます。8月に岡山駅近くのミーティングルームで5名参加の初回会合を行いました。

それぞれの自己紹介を兼ねて、職業上の経験について、自己紹介と自身の強みの発見を兼ねて情報交換を行いました。1度の会合と、会員をメンバーとするメーリングリストを開設し、当メーリングリスト上での情報交換を行っているところです。若手もベテランもますます多忙となる中ですが、今後はプロとアマチュアの違いなどコンセプトを共有し、それぞれのメンバーが、それぞれの強みを活かした発展を目指したいと考えています。

また、新たなメンバーも募集しますので、関心をお持ちの方の当会へのお問い合わせと積極的な参加をお待ちしています。

委員会だより

顧客ニーズ把握のアンケート実施

～企業内診断士事業委員会～

本年度の実務従事事業には9名の企業内診断士の方々が参加しています。

今回の事業では、郊外型の複合商業施設を対象に、その組合の方々が考えている事業計画が顧客満足度の向上による顧客ロイヤルティを高めるものになっているかを検証し、将来にわたり地域に必要な商業施設として発展していくために必要な施策等を助言していただきます。

まず、現状の顧客ニーズを把握するため、商業施設でのアンケート調査を実施しました。アンケート内容も参加者がプロコン診断士の助言を受けながら作成し、現場でのアンケート調査も参加者自らが行いました。また、対象地域の市場調査を実施し、顧客ニーズと市場動向を加味した提案書を作成する予定です。参加者の方々には、企業内で

培ったスキルと試行錯誤しながら考え、導き出した素晴らしいアイデアを活用し、コロナ禍の影響で売上が低迷する商業施設の方々に提案、助言していただきます。上記事業は、企業内では経験する事の出来ない実務であり、診断士として経営者の伴走者となり中小企業経営を盛り上げていくために必要な知識の習得と独立の際に必要な実践的な経験ができる事業と考えています。



【複合商業施設でのアンケートの様子】

新春フォーラムのご案内

来年の新春フォーラムは、公益財団法人大原美術館 理事長大原あかね様をお招きし、「文化・芸術を守ることで美術館を利用すること」と題して講演をいただきます。

コロナ禍の影響は長引き第8波の収束も不透明な中、中小企業経営を取り巻く環境は厳しさを増しています。その状況下において文化・芸術とい

公益財団法人 大原美術館 理事長

大原 あかね 氏

文化・芸術を守ることで
美術館を利用すること

2023.1.15日 開場14:30
15:00~

会場：サン・ピーチOKAYAMA

岡山市北区駅前町2-3-31 TEL: 086-225-0631

【講演会の部】(15:00~16:50)

・対象: 診断士会会員、会員の紹介がある方

・会費: 無料

【新年会の部】(17:30~19:30)

・対象: 診断士会会員、会員の紹介がある方

・会費: 会員は2,000円、非会員は5,000円

●申込は、所属・氏名・電話番号、講演会・新年会の部ごとの

出欠をご記入のうえ、12/27(火)までに、FAXまたはメールで

FAX: 086-225-4554 Mail: osmeca@optic.or.jp



う目に見えない価値を守り、広める挑戦を続けている理事長の話聞くことで、今後に役立つ気づきや学びが得られることと思います。ぜひ奮ってご参加ください

◆開催要領◆

【日時】令和5年 1月15日(日) 15:00~

【場所】 サン・ピーチOKAYAMA
(岡山市北区駅前町2丁目3-31)

【講演会】(15:00~16:50)

演題：文化・芸術を守ることで美術館を利用すること

講師：公益財団法人大原美術館

理事長 大原あかね 様

参加費：無料

定員：50名

【新年会】

時間：17:30~19:30

参加費：会員 2,000円、一般参加者 5,000円

定員：40名



BOOK REVIEW

「ハーバード×脳科学でわかった究極の思考法」

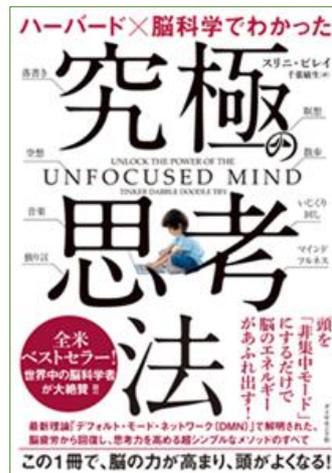
スリニ・ピレイ著 千葉敏生訳 ダイアモンド社

無意識領域で考える！

かつてブルース・リーは「Don't think! feel./考えるな、感じろ」と言いました。そしてトップガンのマーベリックは「Don't think, just do./考えるな、行動しろ」と言いました。2022年サッカーW杯で日本代表チームは、私のような凡人が不可能と思っていたことを見事成し遂げました。一方29年前の「ドーハの悲劇」で、当時の日本チームが疲労困憊の中で懸命に集中しようと頑張っていた姿も思い出しました。しかし現代の日本代表は、かつての日本人とは明らかにメンタルのレベルが違うような感じがします。

昭和世代の私は仕事をやっつけるのに頑張って集中しようとしみます。しかしすぐに気が散って、考えがまとまらなくて、できる気がしなくなって絶望の淵に沈むことが多いです。そんな時のためにDMN(=デフォルトモードネットワーク)を学ぶことが有効です。

DMNは非集中の境地であるという。脳機能の非集中状態をコントロールできるようになることにより、意識でなく無意識領域を使ってモノを考えることができるようになりますと言います。無意識領域を使った方が意識的思考よりずっと脳の処理能力が上がります。それは車の運転でアクセルやハンドルを無意識的に操作するようなものです。



最近、マインドフル瞑想などと並んで話題になっているDMNについて、ハーバード大学の先生でハーバード・ビジネス・スクールなどでも教えている著者が解説した本です。翻訳本ですがまずまず読みやすい、お勧めしたい1冊です。

非集中をコントロールするための要点として本書に書かれていたことを最後に書き留めて置きます。ウソをつかない、言い訳しない、過去をいちいち後悔しないで自分を許す。これらのことが大切なんだそうです。

(書評 会員 安原朋彦)
写真：ダイアモンド社HPより

DX時代に成長する製造業のIT戦略

～ITプロジェクトを成功させるためのノウハウ

太田 記生(著) 現代書林

太田専務理事渾身の著作！

私は岡山県産業振興財団にて専門家派遣のコーディネーターをしています。事業者と専門家を繋ぐ役割が私の業務内容です。その中で近年「IT活用」や「DX推進」の案件が増えています。実際支援を進めると、代表者と専門家はIT活用に積極的であるが、従業員はどうも前向きな姿勢ではない。なぜ、従業員は積極的にならないのか疑問に思い、本書を手にとりました。

本書では「ITプロジェクトの進め方」について深く言及されており、示唆に富むものです。特に第4章では「明確なRFP(=Request For Proposal=提案依頼書)なくしてIT投資の成功なし」と明記



されているように、提案依頼書を明確に作成しておかないと現場に即したシステムは構築できません。また、それを作成する際に、現状維持を求める従業員をどうモチベートさせていくか、意見調整をどう行なっていくかが重要であることが述べられています。IT導入で一番混乱するのは現場であり、「いかに現場の声に耳を傾けられるか」「1つ1つ納得してもらいながら進めていけるか」の重要性を説いています。

本書では具体的な RFP の記載例も掲載されており大変参考になりました。長年 IT コンサルタントとして活躍されている専務理事ならではの作品であり、お勧めしたい1冊です。

(書評 会員 山口大輔)

写真：現代書林 HP より

事務局だより

◆◆10 土業合同無料相談会◆◆

日 時:令和5年1月20日(金) 9:30~16:00

会 場:岡山市役所

相談員 水川 敬章

◆◆創業相談会◆◆

岡山インキュベータ協議会主催

日 時:令和5年2月4日(土) 13:00~17:00

会 場:岡山県立図書館 サークル活動室1,2

相談員 山口 大輔、北川 健介

~~今後の行事予定~~

◆◆令和5年度 定時総会◆◆

日 時:令和5年6月17日(土)

15:00~17:00

17:30 から懇親会

会 場:サン・ピーチ OKAYAMA

(岡山市北区駅前町2丁目3-31)

◆◆令和5年度 理論政策更新研修◆◆

日 時:令和5年8月20日(日)12:50~17:00

会 場:岡山コンベンションセンター

(岡山市北区駅元町14-1)

~~会員異動~~

【正会員】

☆令和4年7月以降入会

栢原 陽子、松田 慎二、村上 綾音、木下 諒、
木下 祐佳

【移籍会員】

浜副 聖史(鳥取県協会より)

2022年12月1日現在

正会員 167名

賛助会員 36名



編集後記

来年は兎年です。

「兎の登り坂」ということわざがあります。物事が滞りなく順調に進捗すること。と書いてありました。

兎は坂を登るのが得意で持ち前の力を発揮してぐんぐん進むことができるということです。

皆さんも自分の得意とすることでぐんぐん能力を発揮してください。

皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

岡山県診断士会会報 第22号
令和4年12月15日 発行
一般社団法人岡山県中小企業診断士会
〒700-0907 岡山北区厚生町3-1-15

岡山商工会議所ビル5F

Tel 086-225-4552

Fax 086-225-4554

発行人 会長 松本直也

編集人 専務理事 太田記生

広報委員 理事 大西 修

